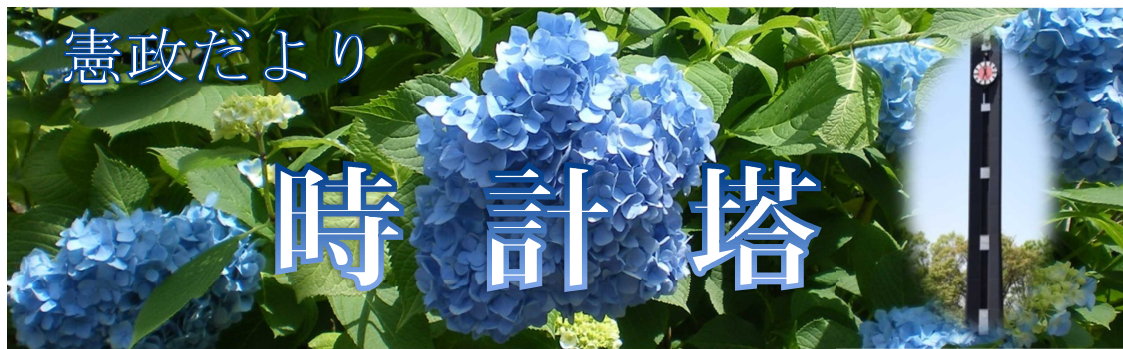




憲政だより

時計塔

特別企画展示

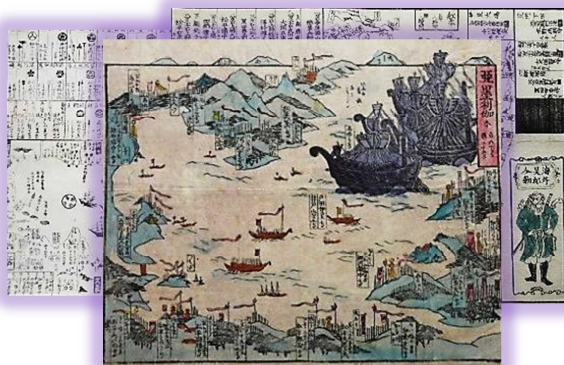
憲政記念館では、平成 29 年 6 月から平成 30 年末まで「幕末明治からのメッセージ—激動の時代を彩った人々—」と題し、シリーズ 4 期に分けて、幕末・明治維新・明治国家建設の立役者たちの遺墨・書簡・記念品等の関係資料を展示いたします。この機会に多くの方々に来館していただき、先人たちが活きた時代を少しでも感じていただけるよう、憲政記念館初の試みとなるロングラン特別企画展示を行います。

今回は、シリーズ I として、平成 29 年



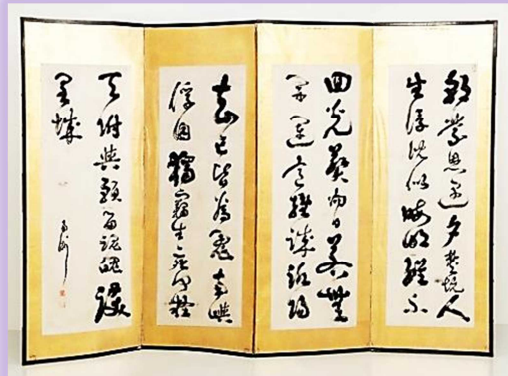
6 月 1 日（木）から 10 月 30 日（月）まで、幕末（ペリー来航から大政奉還まで）を取り上げ、吉田松陰、佐久間象山、西郷隆盛、坂本龍馬、天璋院篤姫等の関係資料を展示します。

<展示資料の紹介>



黒船来航・異人の瓦版

ペリーが 7 隻の軍艦を率いて来航すると、強硬なアメリカの要求を受け入れ、日米和親条約に調印した。この条約の締結により、幕府は下田と箱館を開港した。（橋本秀孝氏所蔵）



西郷隆盛書 屏風

若き日の沖永良部島での獄中生活を詩にあらわしている。（橋本秀孝氏所蔵）

次回 シリーズⅡ

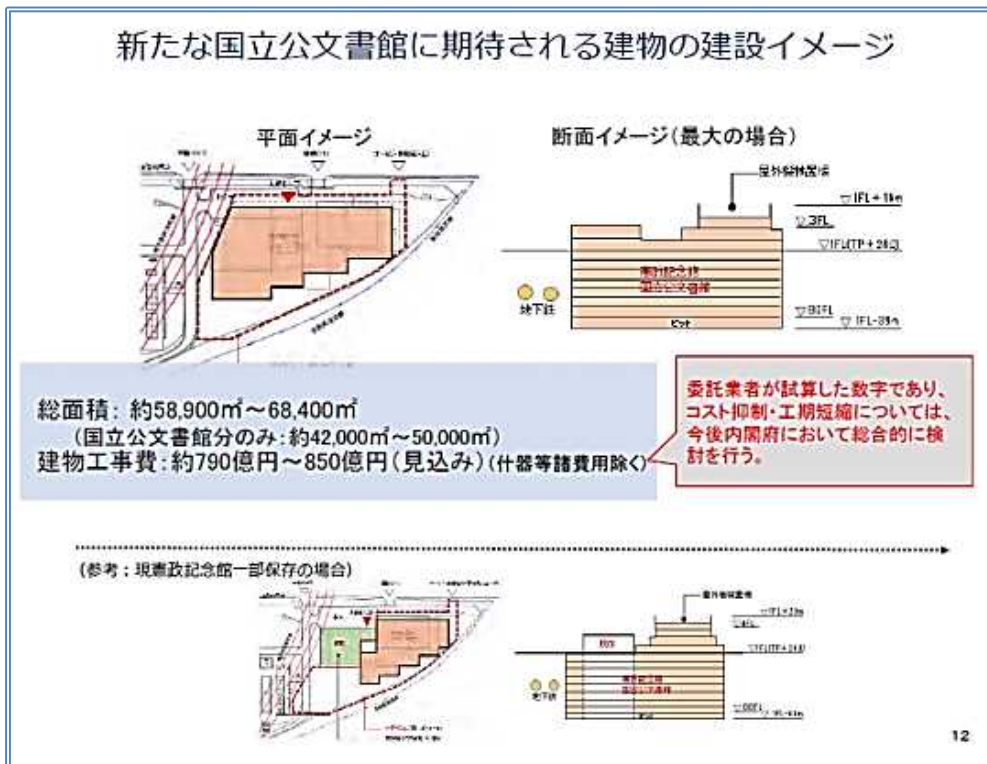
期間 平成 29 年 11 月～平成 30 年 3 月
〔戊辰戦争～議会開設〕

憲政記念館敷地における新国立公文書館と憲政記念館の合築が決定

平成 29 年 4 月 13 日の衆議院議院運営委員会新たな国立公文書館に関する小委員会（以下「公文書小委」という。）及び翌 14 日の衆議院議院運営委員会において、憲政記念館敷地を含む国会前庭を、新国立公文書館と憲政記念館の合築として政府が建設するために使用することが認められました。

同決定に先立ち、政府により、新国立公文書館の建設候補地としての憲政記念館敷地の調査が行われ、本年 3 月に取りまとめられました。

【「憲政記念館敷地における地質学的調査を含む敷地の概況等調査報告」抜粋】



○ 内容(期待される面積を基本案で建設した場合)

- ・ 総建物面積 : 58,900～68,400㎡
(新国立公文書館(42,000～50,000㎡) + 憲政記念館(7,600㎡) + 駐車場)
- ・ 地上地下 : 地上3階、地下6～7階
- ・ ㎡単価試算 : 130万円程度
- ・ 建物工事費試算 : 約 790億円 ～ 約 850億円 (什器等諸費用除く※1)
- ・ 必要工期試算 : 9年半程度
設計約3年、取り壊し約1年、山留約1年、地下掘削・建設約3年、準備期間約1年半※2

(参考1) 公文書館つくば分館(平成10年完成): 工期約2年間(設計期間含まず。)、建設コスト64.5億円(㎡単価約57万円)(当時)、延床面積11,250㎡。

(参考2) 国立国会図書館関西館(第1期)(平成14年完成): 工期約5年間(設計期間含まず。)、建設コスト435.5億円(㎡単価約74万円)(当時)(什器等諸費用含む)、延床面積59,000㎡。

※1 什器等諸費用試算: 140億円～180億円(㎡単価約25万円、書架等の什器を開館時まで全て導入した場合)

※2 準備期間は1年数か月～最大2年の見込み

憲政の十傑 一星 亨一



【略歴】

1850 年（嘉永 3）、江戸で左官屋の長男として生まれた。母が巫医の星泰順と再婚し、星姓を名乗る。横浜に移って英語を修め、明治維新後、陸奥宗光の知遇を得て明治政府に入る。法律研究のためイギリスに渡り、日本人初の法廷弁護士（バリスター）資格を取得。1882 年（明治 15）、自由党に入党。保安条例や出版条例違反等の取り締まりに遭う。1892 年衆議院議員総選挙で当選し、公約どおり第 2 代衆議院議長に就任した。議長時代に不信任決議案が可決するも、無視して議員を除名される。第 4 次伊藤博文内閣において逋相を務め、立憲政友会の設立にも尽力した。東京市会議長であった 1901 年（明治 34）、東京市庁舎で刺殺された。

【憲政において果たした功績】

星亨は強引な政治手法から「押し通る（おしとおる）」と渾名され、その豊富な資金源から金権腐敗の元凶として取り上げられてきた。

他方で薩長中心の藩閥政治に挑んだ政治家であった。留学後、自由党に入り、自費による新聞（絵入新聞『自由燈』など）の発行や、逮捕された党員の無料弁護、党勢拡張のための地方遊説に身を捧げた。政府が保安条例や新聞紙条例などを楯に民権派の言論を取り締まる中で、

国会開設に向けた政党基盤の確立に尽力した。所属した自由党は、地方の独立色が強く、党内調整だけでも困難を強いられた。さらに大隈重信ら改進黨との不和が続く中、三大事件建白運動*による民権派の建て直しや初期議会での党運営に手腕を発揮した。

柔軟かつ先取的な考え方の持ち主だったため、議会での民権勢力の伸展を背景に、藩閥政府との対立から協調路線に転換させた。また民権伸長とインフラ整備をはじめとする地方ニーズを結びつけ、政党組織を地方に浸透させた人物であった。

【エピソード】

1884 年（明治 17）に新潟を遊説中、「政治の限界」と題し、ドイツとロシアのように国会が実態として存在せず、政府が徴兵制を布き、農商工業に関与し、教育に干渉することは望ましくないと藩閥政府を遠回しに批判した。

警官から演説会の解散命令が発せられた後、星は警察署に呼び出しを受けたが、無視して遊説を続けたため、官吏侮辱罪で逮捕され、実刑判決を受けた。既に存続の危機に直面していた自由党は、解党の有力な反対者であった星の拘引により、解党への道へと進んだ。

※三大事件建白運動……条約改正問題にきっかけに、民権派が政府へ①言論の自由、②地租軽減、③外交威信の回復を建白した運動。

【参考文献】

鈴木武史『星亨 藩閥政治を揺がした男』中央公論社、1988 年
寺崎修「明治十七年・星亨官吏侮辱事件の一考察」1982 年

館内・庭園散歩

<みどりの式典>

「みどりの式典」が憲政記念館において平成 29 年 4 月 28 日に行われました。この式典の実施は、「みどりの月間」及び「みどりの学術賞」の創設と併せて平成 18 年 8 月に閣議決定されたもので、今年で 11 回目を迎えました。なお、第 5 回は東日本大震災、第 10 回は熊本地震のため、それぞれ中止となっています。

式典には、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣（本年は内閣官房長官）、文部科学、農林水産、国土交通、環境の各大臣、最高裁長官が通例ご出席されます。

式典で授与される「みどりの学術賞」は、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等に係る研究、技術の開発その他の「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人又は団体を内閣総理大臣が表彰するものです。

今年のみどりの学術賞受賞者の 1 人目は丸田頼一千葉大学名誉教授で、ヒートアイランド現象の緩和のため緑地を効果的に配置する日本型の「風の道」を提唱



憲政記念館御着時に天皇皇后両陛下（手前奥）を奉迎される石原内閣府副大臣（左）

し、都市における熱環境の緩和と低炭素型まちづくりに資する緑地政策に大いに貢献されたそうです。もう 1 人は沈建仁岡山大学教授で、植物の光合成の過程で、酸素が発生する際に触媒の役割を果たす「光化学系Ⅱ」というタンパク質複合体についてそれまで明らかになっていなかった原子レベルでの構造を明らかにし、光合成研究にとどまらず太陽光エネルギーの人工利用（人工光合成）の実現に向けた研究に大きく貢献されたそうです。緑に囲まれた憲政記念館において、「みどりの式典」が行われているのは、大変光栄なことです。

記念展示終了の御礼

4 月 27 日から 5 月 30 日まで開催いたしました日本国憲法施行 70 周年記念展示は盛況のうちに無事終了いたしました。期間中は、11,748 名と多くのご来館をいただき、誠にありがとうございました。

【発行人】 花 島 克 臣
【編集責任者】 高 橋 和 彦

【印刷・発行】 衆議院事務局 憲政記念館
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-1-1
TEL : 03-3581-1651 FAX : 03-3581-7962

本紙について、私的利用・引用等著作権法で認められた行為を除き、無断で改変・転載・複製を行うことはできません。引用される場合には出所を明示し、また、転載等を行う場合にはあらかじめ当館へご連絡ください。